

インターネット 「岸和田市立浜小学校」 校長室だよりで、バックナンバーがみられます。

# 校長室だより



H24 (2012) 年度 NO.2

岸和田市立浜小学校

渡瀬 克美

## 「ここ10年間で最高のスタートを切った浜小学校！！」

始業式、離任式、全校朝会、1年生との対面式、たてわり集会、などが4月から5月にかけてありました。子どもたちの様子を見てみると、タイトルのとおり、私の勤務した中で、最も落ち着いていると思います。

11年前に山直北小学校から転勤してきました私には、本当に隔世の感があります。現在、話を聴く時は、耳と目と心でしっかり聴いている子どもたち、司会や委員会の子どもたちの堂々たる話ぶりに、私は思わずマイクを握って「素晴らしい！」と評価をすることがしばしばです。

ここに至るまでには、保護者の方々のご協力と先生たちの涙と汗が相まってのことです。

この今の雰囲気崩さず、もっともっと素晴らしい「浜学校」にしたいと考えています。ご協力の程よろしくお願いたします。

さて、今月は今年度の『学校づくり』について、本校のそれぞれの担当が、4月20日のPTA 実行委員会で話をさせていただいたことをお知らせいたします。

研究主任(片岡 永子)より



子どもたちは学校に学習に来ています。私たちは分かりやすい授業をするために授業研究をしています。私たち教職員は、浜小学校の子どもたちに、物事を暴力に頼るのではなく自分の気持ちや考えていることを自分の言葉で言えるようになってほしいと願い、今年の研究テーマを「いろいろな人の願いや思いが分かり自分も人も大切にできる子ども」と決めました。そういう子どもになるためには、感情的にならず論理的に考えることが大切です。ところで、算数はどういう力をつける学習でしょうか。それは順序立てて論理的に考えることができるようになる力をつける学習です。これは本校のめざす子ども像と一致していますので、今年度も算数科を通して研究を進めていきます。授業では、まず自分で考え、自分の考えを伝え、友達の考えを聴きます。その活動を通してお互いが学び合います。そして学んだことを自分の言葉でまとめるようにしています。お時間がある時にはぜひお子様のノート等を見てあげてください。よろしくお願いたします。

生活指導主担(桂 ひさえ)より

始業式、離任式、対面式・・・新しい学年になっておごそかな式をいくつか行いました。どれも本当にすばらしかったです。どこがそんなにすばらしかったかというと、話す側の子どもたちは、ハッキリ大きな声でしっかり説明ができていました。中にはマイクなしで堂々とお話した子どももいました。また、聴いている側の子どもたちは、お話ししている人の方しっかりと見て聴くことができていました。浜小学校では、話し手と聞き手のコミュニケーションの取り方として、「こっちを向きます」「はい、礼します」等は言わずにそういう時は黙って目を合わせて礼をするというアイコンタクトを実践しています。また、人の話を聴くときの聴くは、「耳と目と心を使って」という意味で門構えの「聞く」ではなく、耳への「聴く」で聴こうねと指導していますが、今年は今しっかりと実践できているところがすばらしいと思いました。先日全員で「学校のきまり」の読み合わせをしました。また、「ななまち通信」を通してご家庭でご協力いただきたいこと等を発信して参ります。今年も研究・人権と共に協力し合って職員一丸となって頑張っていると思っていますので、どうかよろしくお願いたします。

人権教育主担(澤田 直子)より

今年も浜小学校では職員が力を合わせて人権教育に取り組んでいきます。まず、子どもの心に寄り添うことを一番に考えています。子どもとしっかり向き合い、子どもの話をじっくり聴き、子どもの心を理解していくことに努めてまいります。また、丁寧な、おもいやりのある言葉を職員から使い、心豊かな生活が送れるようにしていきます。本校では名前を呼ぶときには「さん」をつけていますが、これも丁寧な言葉遣いの取組の一つです。人の話を目と耳と心を使ってしっかり聴く取組みも続けて行っています。その他にも、障がいについて学習したり、学習したことをもとに体験したりする機会も作っていきます。そして、1年に1回、学習参観で人権についての授業(学習)を見ていただき、学習についてお知らせしていきます。また、保護者の方には、学校で取り組んでいることを本日のような機会(実行委員会)や、学校便り、学年便り等いろいろな機会を使って、広くお知らせしていきます。今年も学校、家庭、地域が力を合わせて人権教育を進めていきますのでご理解とご協力をお願いいたします。

保健体育部体育主任(濱田 樹哉)より

目標とカリキュラム…本校では、さまざまな運動の経験を通して、運動に親しむ態度や能力を育て、協力や公正の態度を養うことを目標として掲げています。また、運動会や持久走など体育的な行事の際は、児童自ら実行委員となり、児童が動き、児童が主人公となるように指導していきたく思います。体育行事としてはスポーツテスト、水泳指導、運動会、持久走記録会、なわとび集会があります。保護者の方には運動会での自転車置き場の整理などご協力を賜る予定ですのでよろしく願います。他にも何かとお力添えいただくことがあるかと思っておりますので、ご協力の程よろしく願います。

保健体育部養護教諭(小野寺 陽子)より

1. 学校保健目標：児童一人ひとりが心身に関心を持ち、自他ともに健康で安全な生活を送ることができるようにする。2. 具体的な手だて◎学校でのケガや病気に対するケア◎健康診断◎健康に配慮が必要なお子様の保健管理など、これらの健康管理を通して、健康教育につなげていきたい。  
たとえば…けがや病気などで保健室を訪ねる子どもの中には、背景にさまざまな課題を抱えていることも。中には①昨夜は12時に寝た。朝は起きにくくて朝ごはんを食べていない。(生活の乱れ)  
②虫歯が痛くて、学習に集中できない。(病院へ行けていない)「早寝・早起き・朝ごはん」健康的なリズム。  
健診の結果等で何かあった時には病院で見ていただきたいこと。この2点につきまして、今年度も保護者に皆様にご協力をいただきたい。また、保健室に来る子どもたちの中には「何か話を聴いてほしい、自分のことを見てほしい」という思いをうまく言葉で表現できる子もいれば、言葉でうまく表現できず、行動や体の状態となって表れる子どもも多い。  
⇒ そんな子どもたちの思いに寄り添いながら、次に同じ課題にあたった時にどう解決したらよいか、体も心も健康に過ごすには、どうしたらよいか自ら考え、行動できる子どもを育てていきたいと考えております。今年も保健活動にご理解・ご協力のほどよろしく願います。

浜小学校ではこのように組織として、子どものことを中心に据えた取組みを実践しようとしています。ただ、目標通りには進まないこともしばしばです。それでもまず、『こんな学校にしたいんだ!』という目標があるのとないうのでは大きな違いがあると考えます。今年度、研究推進委員会・生活指導部会・人権教育推進委員会・保健体育部会が上述の目標に向かってあゆみ始めています。

**教えるとは、未来を共に語ること**

**学ぶとは、真実(まこと)を胸に刻むこと**

フランスの詩人 ルイ・アラゴン ーstrasブール大学のうたー



ご理解とご協力の程、どうぞよろしく願います。